

3-3

本人と家族をケアカンファレンスに誘ってみよう

本人・家族参加型ケアカンファレンスの効果について

ケアカンファレンス

個別ケア

特別養護老人ホーム 練馬高松園

生活相談員 磯岡 雅人	
東京都練馬区高松2-9-3	
TEL : 03-3926-8341	E-mail : info-n@tfk.or.jp
FAX : 03-3926-7872	URL : http://www.tfk.or.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	大正8年に設立された社会福祉法人 東京福祉会が、介護福祉事業として平成12年4月に開設。定員97名、ショートステイ13名、デイサービス42名（一般30名・認知12名）、地域包括支援センター支所、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業からなる高齢者福祉施設です。私たちの願いは、利用者の笑顔、家族の笑顔、職員の笑顔そして地域の信頼です。
----------------------------	---

<p style="text-align: center;">〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ ご家族からの要望が「特にありません」「お任せします」といったことが多く、ニーズの把握が不十分と感じていた。○ ケアカンファレンスで新たな課題等が現れた際や、個別ケアを進めるにあたり、本人や家族へすぐに意向が聞けず対応が遅くなってしまった。○ 本人・家族がケアカンファレンスの存在や、ケアプランの内容、意味をあまり理解されていなかった。 <p style="text-align: center;">〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ ケアプランの個別化を一層図れるようアセスメント形式の検討を行った。○ ケアカンファレンスを充実するため、原案作成などの工程や、参加者について検討を行った。○ 専門職のみ（居室担当介護職員、介護主任、看護職員、栄養士、機能訓練指導員、相談員、介護支援専門員）で開催していたケアカンファレンスに、まずは徐々にご利用者も参加していただいた。○ ご本人参加が増えるに従って、ご家族へも意向確認時に、徐々にケアカンファレンスへの参加をご案内していった。○ 本人・家族参加型ケアカンファレンスについて参加職員へのアンケートによる調査を行った。	<p style="text-align: center;">〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 本人参加率 91%、家族参加率 75%、両者参加率 74%となった。○ アンケートの集計結果、本人・家族の参加について82%の職員がよいと回答。○ 理由として、大部分の職員が「家族と情報共有がしやすくなる」「家族の意向がより聞けるようになる」「本人の新しい情報が得られる」「家族との信頼関係がよくなる」等と回答しており、コミュニケーションやニーズの把握が格段に向上した結果となった。○ 64%の職員が本人の外出や活動などが増えたとしており、実際の個別ケアにも役立てられている。○ 家族との連携がとりやすくなり、結果として全体的に家族の訪問が増えることに繋がった。○ 情報の共有により、家族に施設の状況も理解していただけ、リスクマネジメントにも繋がっている。○ アンケート調査により、職員の意識や改善すべき点など具体的に情報が得られた。 <p style="text-align: center;">〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 3大介護などの処遇について、各種委員会との連携。○ 本人・家族の参加により時間が長くなることが増えたことによる、カンファレンスの効率化。○ 個別ケアを推進するため、なお一層の内容充実。
--	---

【メモ欄】